

長崎大学附属図書館外部評価報告書

(平成 21 年度)

平成 22 年 3 月 29 日

長崎大学附属図書館

はじめに

長崎大学附属図書館では、平成21年度、国立大学法人化後の第一期中期目標・中期計画における活動を総括するため自己点検・評価を行うとともに、第二期中期目標・中期計画の新たな行動計画の策定に資するため、外部評価を実施しました。

今回の外部評価では、4名の有識者に「外部評価委員会」の委員をお願いしました。

各委員の皆様には、附属図書館が事前に行った自己点検・評価の結果を「外部評価のための資料」として事前評価していただき、平成21年11月16日～17日、実地視察やヒアリング、その他の資料や追加説明に基づいて、外部評価を精力的に行っていただきました。

この報告書は、この外部評価の結果を取りまとめたものです。評価項目は、自己点検・評価の項目建てに従って、①理念・目的、②組織・運営、③情報発信・電子化、④資料収集・保存、⑤施設・設備、⑥利用者サービス・社会貢献、⑦情報リテラシー・授業支援、⑧医学分館、⑨経済学部分館、⑩その他・総評、の10項目となっています。いずれの項目でも、極めて貴重なご指摘やご意見をいただきました。

長崎大学では、第二期中期目標・中期計画においては図書館に係る計画として以下の事項を掲げています。

- (1) 図書館における学生の自学自習環境を整備するとともに、資料・情報の有効利用、情報リテラシー等を通じた教育支援機能を充実させる。
- (2) 全学共同で利用する電子ジャーナル、データベース、専門的資料の収集・提供を充実させる。
- (3) 本学の広報体制を整備・強化するとともに、教員の研究成果や部局の情報に関するデータベースを拡充し、本学の教育、研究、入試及び社会貢献に関する情報を迅速かつ効果的に社会に発信する。
- (4) 本学が保有する歴史的貴重資料の整理及び更なる収集に努め、そのデータベース化を通じ公開する。

附属図書館は、これらの計画の実施に際し、今回の外部評価の指摘を踏まえて、具体的な行動計画を策定し、その達成に向けて邁進する所存です。

平成22年3月29日

長崎大学附属図書館長

柴 多 一 雄

長崎大学附属図書館外部評価報告書

目次

I	外部評価報告書の概要	・・・	1
II	外部評価報告書	・・・	3
	1. 理念・目的	・・・	3
	2. 組織・運営	・・・	4
	3. 情報発信・電子化	・・・	8
	4. 資料収集・保存	・・・	10
	5. 施設・設備	・・・	11
	6. 利用者サービス・社会貢献	・・・	13
	7. 情報リテラシー・授業支援	・・・	14
	8. 医学分館	・・・	15
	9. 経済学部分館	・・・	15
	10. その他・総評	・・・	16
III	外部評価委員会について	・・・	17

(参考)

1. 外部評価のための資料（本文編）
2. 外部評価のための資料（資料編）